

当面の病床機能転換等の一覧（橋本保健医療圏構想区域）

【資料 1－2】

No.	医療機関名	今後の役割・方向性 「2025年に向けた対応方針アンケート」より ※令和4年度実施	機能転換等の内容 (一般病床・療養病床)		転換等の時期 (見込)
1	医療法人博周会 梅本診療所	【C】地域密着型 (軽症患者の救急受入れ、急性期病院からの転院受入れ、在宅復帰へ向けた医療など)	廃止	慢性期病床 9 床を廃止 < 廃止後の機能別病床数 > 慢性期 1 0 床 (▲ 9 床)	①令和7年9月末 ②令和8年3月末

病床機能の転換・病床数の変更等について（案）

現在の病床機能【概要】		<令和7年8月現在>		
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率
高度急性期				
急性期				
回復期				
慢性期		有床診療所入院基本料	7	60%~70%
		有床診療所療養病床入院基本料	12	
計		—	19	
(備考)				

現在の病床機能【詳細】	
一般病床 7床 療養病床 12床。3年前頃より入院患者数が減ってきて、稼働率が60~70%程度まで落ちてきている。それに伴い収益が悪化。	

医療機関名 医療法人博周会 梅本診療所

今後の病床機能		<令和7年10月以降>		
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	
高度急性期				
急性期				
回復期				
慢性期		有床診療所基本料	7	(定員)
		有床診療所療養病床入院基本料	11 (▲1)	
介護医療院				
計		—	18	
(機能転換・病床数変更等の概要)				
療養病床1床の廃止				

機能転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方	
療養病床を削減し収益構造の改善を図る。	

単独病床機能再編計画（案）

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年8月）				④ 病床機能再編後（令和8年4月以降）			
	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病床数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期																
回復期																
慢性期		有床診療所入院基本料	7							有床診療所入院基本料	7			有床診療所入院基本料	7	
		有床診療所療養病床入院基本料	12							有床診療所療養病床入院基本料	12			有床診療所療養病床入院基本料	3	
分類なし (休棟等)		—		—		—		—		—		—		—	—	—
計 (一般病床＋療養病床)		—	19			—				—	19			—	10	
変更の概要													8床については、本事業により削減 なお、残り1床については、令和7年度医療施設等経営強化緊急支援事業（病床数適正化支援事業）により、令和7年9月末で削減（別資料参照）			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。
「病床数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

当院における現在の病床の状況、再編理由、
構想区域の現状・課題など【詳細】

当院は一般病床7床、療養病床12床。3年前頃より入院患者数が減ってきて、稼働率が60～70％程度。収益が悪化。



病床機能再編後の当院の体制・あり方

療養病床を9床削減し一般病床7床、療養病床3床とし、経営の効率化を実施。収益構造の改善を図る。

3

令和7年4月4日

橋本保健所長
和田 安彦 様

医療法人南労会 紀和病院
理事長 佐藤 雅司

病床機能変更について

此度、紀和病院は、在宅復帰支援を強化するため、地域包括ケア病棟（回復期）の機能充実が必要と判断いたしました。

これに伴い、慢性期の長期入院を想定した病棟（障害者施設等一般病棟および療養病棟）をそれぞれ1床ずつ削減し、その分を回復期（地域包括ケア病棟）へ転換することで、より柔軟かつ効率的な病床運用を図ってまいります。

1. 病床の現状と変更内容

病棟種別【医療機能区分】	現行病床数	変更後病床数	増減数
地 域 包 括 ケ ア 病 棟【回復期】	20 床	22 床	+ 2 床
急 性 期 一 般 病 棟【急性期】	60 床	60 床	±0 床
地 域 包 括 医 療 病 棟【回復期】	54 床	54 床	±0 床
回復期リハビリテーション病棟【回復期】	55 床	55 床	±0 床
障 害 者 施 設 等 一 般 病 棟【慢性期】	52 床	51 床	▲1 床
療 養 病 棟【慢性期】	58 床	57 床	▲1 床
合 計	299 床	299 床	±0 床

2. 変更予定日

令和7年6月1日

医療機関別の病床数

【橋本保健医療圏構想区域】
病院／有床診療所

(単位：床)

医療機関名	2025年6月1日 (A)						2025年4月4日現在 (B)						前年からの増減 (A) - (B)					
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
橋本保健医療圏	821	6	403	285	127	0	821	6	403	283	129	0	0	0	0	2	▲ 2	0
橋本市民病院	300	6	245	49			300	6	245	49			0					
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	80		80				80		80				0					
紀和病院	299		60	131	108		299		60	129	110		0			2	▲ 2	
山本病院	84			84			84			84			0					
高野山総合診療所	2			2			2			2			0					
梅本診療所	19				19		19				19		0					
岡田整形外科	19			19			19			19			0					
奥村マタニティクリニック	18		18				18		18				0					
2025年の必要病床数（地域医療構想）	737	65	267	327	78													
※2024年と2025年の必要病床数の差	84	▲ 59	136	▲ 42	49	0												

令和7年6月18日

橋本保健所長
和田 安彦 様医療法人南労会 紀和病院
理事長 佐藤 雅司

病床機能変更について

先般、紀和病院は、在宅復帰支援の強化を目的として、地域包括ケア病棟（回復期病床）の機能充実が必要と判断し、慢性期病床2床を回復期病床へと機能転換いたしました。

超高齢社会において、高齢者の医療・介護ニーズは増加しており、早期の在宅復帰やADLの維持が極めて重要となっています。地域包括ケア病棟は、急性期治療後のリハビリテーションや栄養管理を通じて在宅復帰を支援する役割を担っており、高齢者や要介護者の受け入れが増加しています。

一方で、慢性期病棟は減少傾向にあり、中心静脈栄養管理等における課題も指摘されていることから、在宅や介護施設との連携強化が求められています。こうした状況を踏まえ、回復期機能の強化は、地域医療の最適化に資するものと考えております。

このような背景から、紀和病院では此度、療養病棟（慢性期病床）の10床を地域包括ケア病棟（回復期病床）に機能転換することで、2040年に向けた医療ニーズの変化に柔軟に対応するとともに、「治し、支える医療」の推進に努めてまいります。

1. 病床の現状と変更内容

病棟種別【医療機能区分】	現行病床数	変更後病床数	増減数
地 域 包 括 ケ ア 病 棟【回復期】	22 床	32 床	+10 床
急 性 期 一 般 病 棟【急性期】	60 床	60 床	±0 床
地 域 包 括 医 療 病 棟【回復期】	54 床	54 床	±0 床
回復期リハビリテーション病棟【回復期】	55 床	55 床	±0 床
障 害 者 施 設 等 一 般 病 棟【慢性期】	51 床	51 床	±0 床
療 養 病 棟【慢性期】	57 床	47 床	▲10 床
合 計	299 床	299 床	±0 床

2. 変更予定日

令和7年11月1日

医療機関別の病床数

【橋本保健医療圏構想区域】
 病院／有床診療所

(単位：床)

医療機関名	2025年11月1日 (A)						2025年6月18日現在 (B)						前年からの増減 (A)－(B)					
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
橋本保健医療圏	821	6	403	295	117	0	821	6	403	285	127	0	0	0	0	10	▲ 10	0
橋本市民病院	300	6	245	49			300	6	245	49			0					
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	80		80				80		80				0					
紀和病院	299		60	141	98		299		60	131	108		0			10	▲ 10	
山本病院	84			84			84			84			0					
高野山総合診療所	2			2			2			2			0					
梅本診療所	19				19		19				19		0					
岡田整形外科	19			19			19			19			0					
奥村マタニティクリニック	18		18				18		18				0					
2025年の必要病床数（地域医療構想）	737	65	267	327	78													
※2024年と2025年の必要病床数の差	84	▲ 59	136	▲ 32	39	0												